

繩乃浦尔	塩焼火氣	夕去者	行過不得而	山尔棚引	万葉集 卷三 354 日置少老
繩の浦に	塩焼くけぶり	夕されば	行き過ぎかねて	山にたなびく	
なはのうらに	しほやくけぶり	ゆふされば	ゆきすぎかねて	やまにたなびく	
繩の浦に	塩を焼く煙は	夕方になっても	消えもせずに	山にたなびいているよ	